

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和8年度第1回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	令和8年5月27日（水）午後1時30分～午後3時20分
開 催 場 所	市民総合センター3階 生涯学習活動室 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：高橋 毅、和田 恵子、柳 清美、須永 美智子、下河邊 千草、千田 祐子、押田 友紀子、平田 悠一、佐々木 好恵、小尾 裕美、富田 眞貴子、太田 紋何、仲里 嘉晃、眞中 裕子（計14名） 欠席者：阿久津 裕生、岩瀬 香世（計2名） 事務局：障害福祉課長、障害福祉課認定審査係長、障害福祉課業務係長（議題4のみ）、基幹相談支援センター職員
議 題	1 報告事項 (1) 武蔵村山市自立支援協議会委員について (2) 令和7年度第4回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について (3) 各部会からの報告について (4) 部会長会からの報告について (5) その他 2 議題 (1) 武蔵村山市自立支援協議会の副会長の選任について (2) 武蔵村山市自立支援協議会部会員について (3) 令和7年度武蔵村山市における障害者就労施設等からの物品等の調達実績について (4) 武蔵村山市第七次障害者計画・第八期障害福祉計画・第四期障害児福祉計画の策定について (5) その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題 (1) 押田委員を副会長とする。 (2) 事務局案のとおり決定する。 (3) 事務局が作成した資料について一部修正を加えた上で、決定とする。 (4) 事務局案のとおり決定する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） ●会長 ○委員 ■事務局	1 報告事項 (1) 武蔵村山市自立支援協議会委員について (2) 令和7年度第4回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について — 事務局から報告事項(1)(2)合わせて説明 — 【質疑・応答】 特になし。 (3) 各部会からの報告について (地域相談支援部会から報告) — 地域相談支援部会の部会長から説明 — 【質疑・応答】

	特になし。 (就労支援部会から報告) — 就労支援部会の部会長から説明 — 【質疑・応答】 特になし。 (子ども支援部会から報告) — 子ども支援部会の部会長から説明 — 【質疑・応答】 特になし。 (障害者のくらしを考える部会から報告) — 障害者のくらしを考える部会から説明 — 【質疑・応答】 特になし。 (地域支援事業所部会から報告) — 地域支援事業所部会から説明 — 【質疑・応答】 ○ 今年度は就労支援部会から２事業所が仕事見学・体験会に参加することになっているため、タイムスケジュールに沿って準備を整えていくので、ここで報告させていただく。 (4) 部会長会議の報告について — 基幹相談支援センターから説明 — 【質疑・応答】 ○ 障害者のくらしを考える部会からの報告に戻ってしまうが、昨年度は総合防災訓練実施時に PR ブースを設ける予定だったが、雨のため中止になった。今年度も実施する予定と伺っているが、いつ頃の実施になるのか分かれば教えていただきたい。 ○ 今年度も予定しているがまだ場所は確定しておらず、未定となっている。なお、今年度については縮小の可能性もあるということで伺っている。いずれにしても 9 月 1 日付の市報で情報が公表される見込みとなっているため、それまでお待ちいただければと思う。 ○ 地域支援事業所部会の令和 8 年度事業計画の内容について補足させていただきたい。メンタルヘルスケア研修実施の検討を掲げているが、現在、講師の方を招いて研修を行う方向で話を進めている。そこで事務局から自立支援協議会の予算において、委員研修講師謝礼があると伺っていることから、研修の実施目途が立てば、本予算を活用させていただけないかと考えているので、その際にはよろしく願います。 (5) その他
--	---

【質疑・応答】

特になし。

2 議題

(1) 武蔵村山市自立支援協議会の副会長の選任について

— 事務局から説明 —

- 後任の副会長については、設置要綱に基づき、委員の中から、互選により選任する必要があるとのことだが、選出の方法について提案させていただく。

当協議会の円滑な運営や、これまでの活動経緯を勘案して、押田委員に、後任の副会長をお願いしたいと考えているがいかがか。

もしくは、どなたか他に推薦などはあるか。

- 異議なし。

- 委員の皆様から賛同いただいたので、後任の副会長には押田委員を選任することに決定する。

(2) 武蔵村山市自立支援協議会部会員について

— 事務局から説明 —

- ただいま事務局から説明があったが、武蔵村山市自立支援協議会部会員については案のとおりで良いか。

- 異議なし。

- 委員の皆様から賛同いただいたので、各部会員については案のとおりで決定する。

(3) 令和7年度武蔵村山市における障害者就労施設等からの物品等の調達実績について

— 事務局から説明 —

【質疑・応答】

- 資料7「令和7年度武蔵村山市障害者施設等からの物品等の調達に関する調書」の番号20「在宅高齢者等おむつ給付事務委託」について、調達先名称が「セルフあかつき」となっているが、「社会福祉法人あかつきコロニー」に修正をお願いします。

- 修正する。

(4) 武蔵村山市第七次障害者計画・第八期障害福祉計画・第四期障害児福祉計画の策定について

— 事務局から説明 —

【質疑・応答】

- 次期計画の策定に向けて、昨年度に市民意識調査を実施したかと思うが、前回と今回の市民意識調査を比較して、どのような違いがあったのか分かれば伺いたい。

また、次期計画においては、どのような点を変更していく見込みなのか、現時点で考えがあれば併せて伺いたい。

- 全体構成としては、前回の計画から大きく変更する予定はない。その理由としては、前回計画の内容を大きく変更してしまった場合、比較が

できなくなるためである。

各種施策については、前回計画から充実されているものや新しく実施することになった事業等があった場合は、次期計画に反映していく予定である。

基本的には前回計画の内容を踏襲した形で進めていくが、その内容については、今後お示しする第3章・第4章の中で皆様から改めて御意見を伺えればと考えている。

● 今回実施された市民意識調査の結果について、前回の調査結果とどのような点に違いがあったのか、分かれば伺いたい。

■ 市民が抱えている困りごとや市に対するニーズ等については、前回と今回の市民意識調査の結果を比較して見るかぎりでは、そこまで違いがないと考える。

○ 前回の調査結果と今回の調査結果に違いがあまりなかったとすると、例えば「相談に乗ってもらえる場所が足りない」という質問について「はい」と回答した人が前回も今回も70%であれば、それは状況が改善されていないことを意味するため、こういった結果が出ているものがあるのであれば、何かしらの施策に反映していただければと思う。

また、当会に所属している家族や当事者には障害者手帳を持っていない方もいるため、前回の計画策定時にも障害者手帳を持っていない方にも意見を聞いてほしいと要望したが、今回の市民意識調査では反映されなかったと認識している。手帳の有無に関わらず、広く意見を聴取していただきたいと考えている。

子ども計画策定時のアンケート調査においては一般の方を対象としており、自由回答の中で「発達が心配である」という意見が寄せられている。また、計画の中にもその内容が盛り込まれているため、障害福祉計画の策定を進めていくに当たり、子ども計画のニーズ調査等で得られた結果を踏まえて検討していただきたいと考えている。

■ 子ども計画の対象者は障害福祉計画とは異なるため、子ども計画のアンケート結果も含めて検討するとなると適切な評価が難しくなる面がある。そのため、次期計画の検討に当たっては、今回実施した市民意識調査を基本とせざるを得ないのが現状である。しかしながら、発達障害などに関する事業や施策を展開していくに当たっては、子ども計画のアンケート結果も参考にさせていただく。

また、教育委員会が実施しているニーズ調査などにおける子どもの発達や障害児に関わる内容についても、今回の障害福祉計画の中に反映していければと考えている。

○ 令和8年度の数値が確定していないため空欄になっていたり、それに伴って文言も記載がなかったりしているが、その段階でも「事務局案のとおり決定」もしくは「事務局案を一部修正の上決定」といった形で決議を取らなければいけないのか。

■ 今回お示しした部分については、課長等で構成される庁内策定委員会において決議を諮り、承認をいただいているものとなっている。

ご指摘いただいたとおり、数値が確定していないことから空欄になっている箇所等があるところだが、そのあたりの修正対応等については事務局に一任いただければと考えている。

○ 空欄になっていた箇所等の記載が完了したら、その内容について改めてお示しいただけるのか。また、その内容についても修正等をお願いしたい箇所があった場合は依頼ができるのか伺いたい。

■ 今回、空欄等で示している箇所についての示し方は今後調整させていただければと思う。

